

「じゃがいものうち」通信 NO.67 2010.12.20

～ 障害者と共に生きる仲間たち～

NPO法人「じゃがいものうち」

〒891-4404 鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間136-6

Tel.Fax/0997-47-3588 E-mail/npo-jaga@po.minc.ne.jp

URL:<http://www.minc.ne.jp/npo-jaga> 代表 楯篤雄



就労継続支援B型施設「屋久の郷」内
カフェレスト「ひだまり」(宮之浦)

地元で過ごせる環境を作ろう

先日、障害者の娘さんを持つ友人より「どうして屋久島には障害者の施設がないの？」と聞かれました。現在屋久島には2002年に児童デイサービス「デイサービス縄文」、2008年に就労継続支援「屋久の郷」が立ち上がっています。

「どうして出来ないの？」と聞かれ、私なりに考えました。障害者自立支援法になる以前は措置制度(注)でした。その制度では施設設立の定員基準が30名や50名で、人口の少ない地域では基準を満たすことが非常に困難であり、離島となれば利用者が島内だけに限定され、国が設けているハードルを超せなかった事が、友人の問いかけられたことの大きな要因でした。しかし、現在は国の法律もずいぶん緩和され、地域密着型の小規模や多機能という形で5名～10名定員でも事業化が可能になりました。人口の少ない地域においても格差のない制度整備が進められています。

その制度を活用し実行するか否かは、それぞれの「地域の力」であり、そこで暮らす人々の後押しも必要です。障害者の自立や社会参加の必要性を最も強く感じている障害当事者や家族が立ち上る時が来ていると思います。

今なお障害者の島外への流出は変わらない現状ですが、早く未整備な部分を埋めて、在宅の障害者が安心して暮らせるように、また屋久島から出てしまった障害者たちが帰れるよう、当事者、家族、関係する機関・団体そして行政と共に具体的な取り組みを早急に展開して行こうと考えています。

(楯 篤雄)

(注) 措置制度とは、行政が主体的に行っていた頃の制度、今は個人と事業所との契約で行っている。現在は、措置制度から支援費制度に移り 自立支援法に変わっています。

みんなのおうちコーナー

11月誕生会へ劇団とんちんかん参上！

11月24日(水)利用者のユキ子さん、一男さん、スタッフの長瀬さん、新しく調理スタッフに加わった手島さんの誕生会を開催しました。昼食はボランティアの協力や差し入れによるごちそうをみんなで美味しくいただきました。

午後からは育成会メンバーによる劇団とんちんかんとボランティアの方が参加され、初挑戦のハンド

ベル演奏や歌を披露してくれました。懐かしいわらべ歌と一緒に口ずさんだり、息の合った美しいハンドベルの音色に聞き入ったりと、一足早いクリスマス気分を楽しませていただきました。

宴もたけなわとなったところでユキ子さんの唄と踊りをVTRで流すと、歌い出す者あり、踊り出す者あり、抱き合う者あり。大人の盛り上がり大会へとなだれ込みました。みんなでハッピーバース



デイを歌って祝い、ケーキとお茶で乾杯し、手話付きで水戸黄門の主題歌『ああ人生に涙あり』を大合唱!!この笑顔と一体感が、年齢や障がい、利用者やスタッフといった枠をはずす魔法なんですね。これからもいろいろな枠を超えていけるように皆様と協力・共働していきたいと思ひます。



今年もありがとうございました

気がつけば師走...アツという間に1年が終わろうとしています。今年はスタッフの入れ替わりや新規利用者さんのお迎え、と大きな変化の年となりました。“毎日が誕生日”という表現を目にしたことがあります。日々をただ過ぎていくだけの日常ではなく、かけがいのない一日を新鮮な気持ちで迎える日として捉え、ワクワクと過ごす楽しい日にしようという思いが込められているのでしょうか。

一日として同じ日はない、そんな当たり前のことに気づくゆとりと、その変化に感謝できる毎日を送りたいですね。

今年も残すところ僅かとなりましたが、お身体には十分気を付けてお過ごし下さい。来年が皆様にとって素晴らしい1年となりますよう、スタッフ一同お祈り申し上げます。そして、新たな1年を皆様の元気な笑顔と共に迎えたいと思ひます。良いお年を！

年末行事

12月22日(水)は餅つき大会、25日(土)は12月の誕生会(利用者の節子さん)を兼ねたクリスマス会を予定しています。タブン大掃除はできないまま?!

年内は30日(木)までの営業、初仕事は新年1月5日(水)からとなっておりますm(_ _)m

新しいスタッフより一言

11月から調理スタッフとしてお世話になっております手島エミです。宮崎出身の尾之間中町在住です。皆様に喜ばれるお食事がお出しできるよう精一杯がんばります。どうぞよろしくお祈りします。

安房小との福祉交流

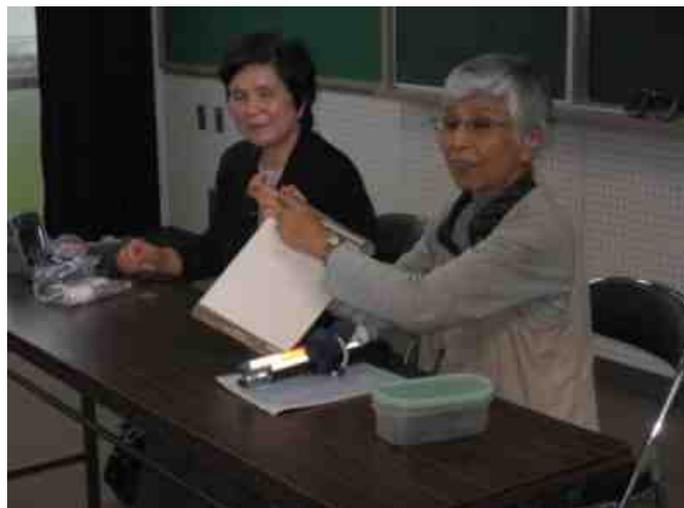
【福祉に学ぶ安房小学校6年生と4年生】

10月21日(木)

福祉学習の一環として中井さんと二人で視覚障害者の生活について話しをして来ました。中井さんは主に生活グッズ、私は外出用の白杖とサングラスについて、そのほか点字の歴史やヘレンケラーの生い立ちと仕事や障害者を取り巻く世相についてお話しさせて頂きました。

想像もしていなかった子供たちの反応に二人でびっくり。感想文が63人から寄せられたので、嬉しい悲鳴をあげながら丁寧に読ませてもらいました。

どんな反響だったか一部を紹介いたします。



私は、目をつぶって友だちに手をひいてもらって学校を歩いてみたら、とても怖かった。いろんな話しの中で、努力することが大切だとわかりました。わたしもバレーボールでがんばっています。これからも努力した後の笑顔を目指して生きていきます。(6年)

道具を使って工夫して生きていく事は、とても素晴らしいと思いました。最初はおとなしい方なのかなと思いましたが、とても明るく、話しを聞いていてあたたかい気持ちになりました。ずっと笑顔でいて下さい。私も困っている人やお年寄り、不自由な人がいたら助けてあげようと思います。(6年)

目の見えない人の大変さ、怖さを教えてくれました。今こうしてなに不自由なく暮らしているぼくらはこんなにも幸せなことなんだと思いました。(6年)

目が不自由でも道具をつかい、料理や洗濯、その他の家事も出来る話しを聞いておどろきました。でも壁にぶつかったり、そっこうに落ちたり苦勞もありますが、いろんな苦勞をのりこえて、周りの支えもあって便利な道具で普通の生活が出来ることに感心しました。(6年)

お話しを聞く前は、目が見えない事はすごく

大変なんだなあーと思っていたけど、道具を使って工夫し、私たちとあまり変わらない生活をしていることを教えてくれてありがとうございます。(6年)

中井さん、四宮さんの話しのおかげで、点字や白杖など目の不自由な人たちが使う道具を知ることが出来ました。この話しを聞いて、もっともっと目の不自由な人たちの話しを聞きたいと思いました。(4年)

話しを聞いて、音声の出る機械が必要だと思いました。ぼくたちは見えるのに、見えない人はひと苦勞するからです。これからはお年寄りの方や目や耳の不自由な人のやくにたてるようにしたいです(4年)

ぼくは、福祉のことはわからなかったけど話しをきいたり、学校でビデオを見たりして福祉はこういうものなんだと思いました。中井さん、四宮さんの「ぜったい生きる」ということは、すごいことだと思いました。(4年)

目の不自由な人とふれ合うのははじめてなので少しドキドキしました。でも、会ってみると“やさしい顔だなー”と思い、話しを聞きながらびっくりしたりおもしろかったり道具が便利だなと思ったりしました。(4年)

皆さんの感謝の言葉が沢山述べられていますが、その部分は重複するので割愛させて頂きました。一番印象に残った話は「いつも話しを聞けない子が最後まで真剣に聞いていた」と先生に聞き、少しは心に残る話が出来たのではないかと思います。中井さんと安房小に行って本当によかった。

これからも、私ちに出来ることをしていこうと話合いました。

(四宮英代)

安房小、神山小との福祉交流

先日、12月10日に安房小学校と神山小学校の人権教育で「聴こえない事」についての講演を行いました。安房小学校では2回目の講演になるのですが、児童達の手話習得が目に見えて上達しているのには大変驚きました。

私は重度の聴覚障害者で、3歳の時に崖滑りで板に乗って遊んでいて、その時の落下で後頭部を強打した事により、聴覚神経が切断されて殆どの聴力を失いました。当時は、お袋が私を抱えて病院を彼方此方駆け廻りましたが、診断の結果、治癒は不可能との判断でした。そして幾星霜、52歳の現在、次男が生まれつきの聴覚障害者です。

私には子供が3人居ますが、次男が前の女房の子供で、その女房も聴覚障害者でした。聴覚障害者のグループの交流で知り合って結婚したのですが、聴覚障害の有る子供が生まれた事は耐えがたい震撼的な衝撃で、その時のショックは余りにも大きなものでした。その後も、次男の事を思うと辛くて1年間、毎日泣き通しました。

女房の親戚に聴覚障害者は皆無で、彼女自身も生まれながらの聴覚障害者でしたが、兄弟に障害が無く突発性の難聴だと思いました。その後、価値観の相違から離婚する事になり、現在健聴の女房との間に4歳の息子が居ます。

聴覚に障害があると、真っ先に困るのは勉強です。私は聾学校ではなく通常の学校に行きましたが、学校の先生の言う事がわかりませんでしたので、学校で過ごす一日の大半では学力が付かなく、家に帰ってからの自らの勉強で初めて教科書が理解できるという状態でした。聴こえない事で苛められる辛さや、音楽が出来ない・友達との会話が成り立たない等の苦しみで、いばらの道を歩んできましたから、次男も同じ道をたどるのかと考えた時に涙が止まらなくなったのです。

私は、49年間音の無い世界に居ます。音の無い世界は、字幕と音声の無いテレビと同じで、非常に不便で、感激も少なく、つまらない毎日です。鳥のさえずりや風の音、車の通行音や町内放送、チャイムやベルそれらが一切に除外さ

れていますから、朝起きて「無」の中で体を動かし、夜に「無」の中で就寝する毎日です。自分の声も耳に入ってきてませんから、実際には発声の時は、自分が何を喋っているのかわかりません。

でも、3歳の時まではテレビの音声やラジオからの音楽などで歌を沢山聞いていて、歌を覚えていましたから「ぞうさん」や「めだかの学校」等をいつも口ずさんでいました。その時の習性が残っていますので、発音やアクセントが多少、長年の音の無い世界で歪められていますが、生活に支障の無い範囲で喋る事は出来ます。

私は生まれも育ちも神戸ですが、縁もゆかりもない屋久島に今年の1月に移住してきました。その理由は『水』の綺麗さに有ります。神戸は世界的にも発達した町で不自由さは感じませんが、残念な事に川も海も汚いのです。それで、子供の頃から水の綺麗な場所に憧れを抱いていました。27年間、神戸で地方公務員として働いていましたが、意を決して中途退職し、農業をする為に平内に居住を構えました。次男は当時、聴覚障害児専門に育成された小学校で、手話の出来る教諭たちに囲まれた贅沢な教育環境でしたが、現在は八幡小学校で補助員を付けて頂いた簡素な環境で勉強をしています。今回は私の経験や辛かった事などをお話して、聴覚障害の辛さを皆さんに理解して頂いた上で、聴覚障害の有る人に対する配慮をお願いする講演をさせて頂きました。(中村一郎)



【手話教室のお手伝い】

12月10日(金)に今年度2回目となる安房小・神山小の4年生と、今回が初めての安房小6年生の3クラスに、手話について知ってもらう機会があり、簡単な手話の通訳・手伝いとして参加しました。

2回目の「手話」だった安房小4年生の子ども達の「知りたい！教えて！見て！」という話しへの関心・意欲の高さと、「手話で表そう、伝えよう」とする自然な気持ちがとても強く感じ

られました。活発で笑いや歌声の響く中、子ども達一人ひとりと担任の安美先生の気持ちに感激しました。島内では、手話を使うこと・耳が聞こえない人と接することが少ないのですが、学校が授業の中でこうして取り入れて下さることで少しずつでも、知る・触れ合う・感じる機会が増える事を今後も期待いたします。楽しかったです。(日高冬子)

豚味噌用麦味噌作り 10月27日～28日 (参加者14名)

豚味噌事業も今年は本格稼働。売れ行き好調で生産が遅れ気味でしたが、今年予定していた麦味噌作りも多忙の中、何とかこなせることが出来ました。

作業に快く参加された方々に深く感謝申し上げます。

いつも参加して下さる尾之間在住の山田玲子さんに、作業や普段のふれ合いを通して感じていることを語っていただきました。



【交流】

一年前のこと、中野のバス停でのぶ君に出会った。いろいろな会話をしている中で政治の話題がのぶ君の

口から理路整然と出て来て、この若さで関心の深さにびっくり。私が「どこで勉強したの？」と訪ねると「テレビのニュースで毎日見えています。ぼくはニュース番組が好きです！」の答え。「おばさんはニュースを見ないんですか？ニュース番組は大切なことを教えているから見たら良いです」とすめられた。当時、政治のニュースはうんざりすることばかりの時期。忙しさも手伝って真摯に見ることがなかった。のぶ君の発した「ニュースの中には大切なお話が有るので観た方がいいと思います」と助言を受けて感動しました。“きっと大切なところ” “良いところ” をきちんと見分けていたのでしょう。初対面の会話で70歳を過ぎた大人が示唆と感動を受けて、忘れられない会話でした。

じゃがいものおうちのみなさんと麦味噌作りや豚味噌製造に参加させていただくうちに「平野から尾之間まで自転車で走ってくる」と言う鹿島浩二さんとも会話が増えた。いつもにこやかに前向きな思いを会話する姿は健全で率直そのもの。すばらしい個性だと実感させられます。

ご家族やまわりのサポーターの方々が、彼らが共感できるものを一つ一つ積み上げて来てこの成長があるのでしょうか...と推察しているところです。

70歳を超えた年寄りに出来ることは見つかりませんが、じゃがいものおうちの充実・発展もさることながら、彼ら若者の良い個性を大切に発揮して上げることなど、これからの活動を楽しみに見守り、交流出来ることを期待しています。(山田玲子)

じゃが芋植え付け 11月2日(火)

今年のじゃが芋植え付け福祉交流は、安房小4年生37名と先生3名が参加して下さり、10アールの作付けをしました。

今回は、参加された仙田先生に一言感想を頂きました。



【じゃがいものおうちの皆さんとの交流】

今回、初めて「じゃがいものおうち」の方々との交流をさせて頂きました。特別支援員として安房小学校の児童達と学習を共にする中で、4年生と過ごす時間を多く頂いていますが、今回「じゃがいものおうち」の方々との「ジャガイモ植え付け作業」を4年生と体験を共にする機会を頂きました。

児童達への支援、それが私の本来の立場ですが、半日に及ぶ作業の中では自分自身が夢中で取り組んだ記憶がほとんどです。きっと子供たちも、考えたり感じたりする以上に、とにかく引き付けられるように作業に夢中になり、終わった後ようやく、身体に残った感覚や目に焼き付いたものを思い出して、忘れられない一日を過ごしたはずで。

何より印象的だったのは、「じゃがいものおうち」の皆さん、一人一人がとても魅力的であったこと。何らかのハンディを持った方だったとしても、作業の一つ一つをはっきりと、そして自信に満ち溢れて、楽しそうに話して下さいました。それが児童達、私達に伝染して、大変な作業であっても手を休めず一生懸命に取り組む児童達の姿に繋がったのだと感じています。

みんな、学校で見る顔とは少し違って見えました。私も児童達とたくさん話しをしながら過ごしましたが、作業と関係のないことを話す子は一人もいませんでした。ジャガイモの切り方、植え方、土のかぶせ方、作業の効率のこと、作業中に見つけた素敵な景色・・・児童達の口から次々出てくるのは、目の前にあることへの発見ばかり！ただ見るのではなく、聞くのでもなく、まず自分達で全部やらせてもらえたこと。どんな立場の人も、同じ目線で一緒にやれたこと。それが何よりの勉強になったと思います。私がそうでした。また来たい、また皆さんに会いたい、純粋にそう感じた一日でした！本当にありがとうございました！
(安房小 特別支援員 仙田由妙香)

しゃくなげ未来館との交流(遠足会)

11月10日(水)



いなか浜(永田)

「じゃがいものおうち」と「しゃくなげ未来館」の今年度2回目の交流会として合同遠足に行ってきました。ずっと雨続きだったのでお天気が心配でしたが、皆の普段の行いが良い(?)せいか降られずに済みました。

未来館17名、じゃがいものおうち7名の総勢24名が4台の車に分乗して島一周のドライブ。「バス一台だったらよかった」「途中でゲームでも出来たらよかった」などの声は聞かれましたが、参加者全員、楽しんでくれたのではないのでしょうか。未来館の人達は、楽しかったと言っておりました。また一緒に遊びましょう。

(しゃくなげ未来館 大垣千鶴)

おおぼらかい

- ・ 9月28日(火) 茶話会(9名参加)
- ・ 10月26日(火) 茶話会(12名参加)

9月&10月は、「身近な問題について」話し合いました。

初参加の方もおりましたが少人数の割には大変盛り上がり楽しい会となりました。

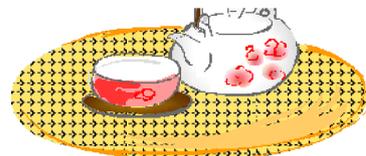
- ・ 11月26日(金) 茶話会(13名参加)

今回は久しぶりに参加された方々の近況報告(展示会出品のために日々仏像彫りに励んで居られたこと、高齢社会をいかに夫婦円満に過ごすかの秘訣は、二人で一緒にお風呂に入ること、自分が今頑張れるのも皆さんのお陰ですと感謝を述べられる方)などを交え、大変楽しく!有意義な一日となりました。ありがとうございました。

- ・ 12月14日(火) 忘年会(19名参加)

今年の忘年会はお弁当&手作りのお吸い物でお腹を満たし、芸達者な方々の参加により、アカペラで歌唱力を披露してくれた方や地元の尾之間音頭を唄われた方&得意の踊りを披露してくれた方などで賑やかに宴も進み、カラオケ大会へと突入。歌い終えた後の採点に一喜一憂(53点:もう少し頑張りましょう!84点流石ですね! などなど)大いに盛り上がりました。

来年も元気に会いしましょう!
良いお年を!



行事予定

餅つき会

日時 12月22日(水) 9時集合

場所 「みんなのおうち」

持ち物 エプロン、三角巾又はスカーフ、
食器(箸、茶碗、コップ)
昼食はつきたての餅、ごった煮汁

新春茶話会

日時 1月4日(火) 12時~15時

場所 「じゃがいものおうち」

持ち物 一品持ち寄り、箸、食器、飲み物

タンカンジュース作り、じゃがいも掘り

ウコン、カジュツ掘り

日時 2月下旬~3月中旬

おおぼらかい

日時 1月25日(火)

日時 2月22日(火)

日時 3月22日(火)

(午後1時30分~ みんなのおうち)

産業祭出店

日時 2月5日(土)

場所 尾之間 屋根付きゲートボール場

(町民すこやかふれ合いセンター)



11月24日(水)みんなのおうちに、12月11日(土)徳洲会病院「院内ライブ癒しの森」にて、安房にお住まいの馬場ひとみさんと劇団とんちんかんの楯さん、浩二君、信裕君、千賀子さん、まみよさんと私でコンサートを開きました。今回はコンサートということで、劇団とんちんかんは、わらべうたのメロデーとハンドベルに挑戦！「ハンドベル」皆さんはさわったことがありますか？あの楽器、良い音を出す為には、振り方にコツがいるのです。そして、1つのベルで1つの音しか出ませんから、タイミングを計るリズム感と階名読みの記憶が必要となります。障害を持っていると難



しい楽器ですが、挑戦してみることにになりました。最初の練習はめちゃくちゃとんちんかんでしたが、練習を重ねるごとに、みんなの気持ちがそろってきて、メロディーになってきます。何度も練習する大切さ。練習でも本番でもメンバーが欠けてはいけないこと。気持ちを落ち着け、気持ちをみんなとそろえること。常に指揮を見ていること。こうして、練習においても、どんどんハードルが上がっていきます。しかし、それが完成した時の「達成感」、皆さんに聞いて頂き、喜んで下さった時の「充足感」となります。これは、メンバーにとっても、私にとっても、かけがえのないご褒美、大きな宝となります。

徳洲会病院でのコンサートへは、たくさんのお客様が足を運んで下さいました。お客様と一緒に歌を歌ったり、合奏したり、懐かしいわらべうたに涙する方もいらっしゃいました。素敵な歌声でコンサートに花を添えて下さった馬場ひとみさん、ありがとうございました。コンサートへ足を運んで下さった方々、ありがとうございました。みんなのおうち、徳洲会病院のスタッフの方々、お世話になり、ありがとうございました。

尚、こうした音楽療法的音楽活動を、高齢者、障害者の方々の施設へ、ボランティアでうかがわせていただきます。また、劇団とんちんかんと共にコンサートへうかがいます。詳しくは「すずきゆうこ音楽教室」(47-2965)まで。

さあ！調子付いた私たち！春のコンサートへ向けて練習がんばるぞ～！（鈴木裕子）



都城「まーる工房」にて

手をつなぐ育成会便り

・今年も行きました。「熊毛地区手をつなぐ育成会スポーツ大会in種子島&都城研修旅行」。今年は障害者10名を含む17名の参加者でした。

いつも思うのですが、この研修旅行は、まるで小さな小舟で大海にこぎ出すようです。何が起こるか予測が出来ず、いつも気を張っていなければなりません。それでも、みんなの喜ぶ顔が見られるならばと勇気と度胸でこぎ出す船出。まさに演歌か浪花節の世界です。昨年の反省をもとに男女隔離政策、もっと飲ませると憤怒の形相への沈着な対処。一時間ごとのトイレ休憩

も難なくクリアー。一人だけサポートスタッフが最終日にマジギレ寸前でしたが、私はそちらの方が心配でした。でも回数を重ねるごとに、お互いに相手を思いやる心などが皆に育っています。深夜、何となくみんな目を覚まし、彼らなりに将来のことをぽつぽつと語っているのを布団の中で聞いていると、涙がにじんできました。

それから都城支部長の浜口隊員のサポート、ありがとうございました。無事帰り着くことが出来たのもあなたのサポートのおかげです。就労継続支援B型事業所「まーる工房」、NPO法人「キャンバスの会」、いずれも子どもが障

害を持つ親がNPOや社会福祉法人を立ち上げ、立派に地域に貢献していました。その熱意と情熱を頂いた大収穫の研修旅行でした。

・11月23日(火)栗生集落の「あらんばら一市」に出店させていただきました。今年で3年目になります。すっかり恒例となり、栗生集落の方々に歓迎され、とても嬉しく思います。ある出店者の方が「この野菜の売り上げは育成会に寄付されます」と書かれた張り紙を見たとき、そのお心遣いに感謝し、また活動の責任をさらに強く持たねばと、心引き締まる思いでした。栗生の皆様ありがとうございました。

(楯 篤雄)

喫茶コーナー

「喫茶じゃがいものうち」をもっとたくさんの方に知っていただきたい、もっと利用していただきたい！そんな思いで、どうしたら皆さんに来ていただけるかなあ・・・と楯さんと話をしていたところ、喫茶の加山さんから模様替えの案が出ました。

ちょうどそこにはまみよさんの姿もあり、女子三人はあーでもないこーでもないと好きなことを言い始めたのでした。高見澤さんや他の曜日の喫茶担当の畑下さんと安藤さんにも相談をし、話が出てから一週間後には加山さんと二人、模様替えを実施したのであります！この時ばかりはお客さんが来ないことを祈って・・・大掃除ばりに二人で雑巾と格闘しながら、リサイクル用品の棚やハンガーラックをレイアウト。うこんやせっけん類の棚はお手洗いの目隠しに。テーブルの配置は高見澤さんのお知恵も拝借して移動完了。おひとりさまにちょうど良い、外向きカウンターも出来ました。そして出入口！今でも間違われる方がいらっしゃるのですが、出入口を変えましたよ！外にあったリサイクルの洋服を中に入れたので少し狭くなっていると思うのですが、出入口を変えたことやテーブルの配置のせいでしょうか、よく「広くなった気がするねえ」といわれます。こうして数時間に及ぶ喫茶大改造は、なんとか終了。

外にはカフェらしくかわいらしい看板も置くようにしました。実は、リサイクルの洋服は

「外にあった方がいいわ」というお声を聞くことがあります。今までと違うことでご不便をお掛けしていることもあるかと思いますが、できるだけ商品を陽に当てないで良い状態を保ちたいと思い、中に入れることになりました。洋服以外にも靴や小物などもありますので、是非中でゆっくりご覧になっていって下さい。たまには安くて美味しいコーヒーを飲みながら、というのもいいですよ～(^v^)

リニューアルした「喫茶じゃがいものうち」に一度・・・と言わず何度でも足を運んでくださいね！

(相良知恵)



感謝録 (9月27～12月19日 敬称略・順不同)

いつもご支援、ご協力ありがとうございます。(じゃがいものうち、みんなのうち)

浪平幸枝 生出陽子 相良知恵 古居智子 稲場輝雄 安藤多鶴子 松本活栄 久保田渚
鈴木由美 藤田邦子 鈴木裕子 梶野かおり 山田由紀子 日高ヨリ 戸床マサ子 太田美代子
後藤田由利美 岡野道子 戸床頭 萱嶋好子 古賀早苗 松本三枝子 大原貞子 亀澤政親
田隼浩昭 日高夕エ子 長谷川英紀 岩川絹子 桑山道子 遊佐さえ子 日高ゆかり 畑下和子
古居節子 会田美世士 高山宏子 NPO法人コスモ(種子島) 長谷部なほ子 渡辺まみよ
日高チズ 坂内久仁子 古居一男 田中和彦

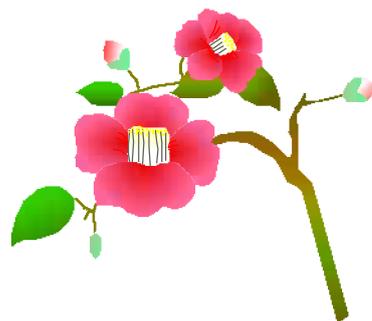
会員の更新、新規加入ありがとうございました

(50音順 敬称略 12月19日現在)

更新(一般会員) 高田忠幸(一湊)
(賛助会員) 寺田房子(一湊) 坂内久仁子(新潟県三条市)
新規(賛助会員) 長瀬真弓(埼玉県所沢市)

新会員紹介 (賛助会員)

長瀬真弓さん
皆さんよろしくお願ひします



年末年始のお知らせ (下記の期間お休みさせていただきます)

喫茶 12月29日(水)～1月4日(火)
みんなのうち 12月31日(金)～1月4日(火)

編集後記

いよいよ今年も押し迫ってきました。あわただしい中、予定通り今年度3回目の通信67号を無事発行できて胸を撫で下ろしているところです。この度は依頼した原稿の内容が濃くページが足りなくなり、10ページになってしまいました。行事の内容が充実してきているかなーと、喜んでいきます。来年もよろしくお願ひします。良いお年をお迎えください。

- 追伸 -

今、ホームページのリニューアルに取り組んでいます、今年度内には完成する予定です。
乞うご期待!

(楯篤雄)